

## 第2次札幌市まちづくり戦略ビジョンにおけるオリンピック・パラリンピック冬季競技大会招致の位置付けについての市長コメント

---

先人たちが築き上げてきたこの魅力的なまちを受け継ぎ、新たなまちの礎を築いていくため、この度、今後10年のまちづくりの基本的な指針として、「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」を策定しました。

ここで定めた「目指すべき都市像」や「まちづくりの重要概念」(ユニバーサル(共生)・ウェルネス(健康)・スマート(快適・先端))は、オリンピック・パラリンピック冬季競技大会との親和性が高く、戦略ビジョンにおいては、大会の招致を、まちづくりを加速させるものとして位置付けました(ビジョン編:令和4年10月策定、戦略編:令和5年10月策定)。

その後、札幌市としては、大会の招致活動を停止するという結論に至りました(令和5年12月)。しかしながら、「目指すべき都市像」や「まちづくりの重要概念」などについては、大会招致の今後の動向に関わらず、実現に向けて取り組んでいくべきものと考えております。

今後は、この戦略ビジョンに込めた札幌市のまちづくりに対する思いを市民・企業の皆さまと共有し、連携しながら、取組を着実に進めてまいりたいと考えておりますので、引き続き、皆さまのお力添えをお願いいたします。

令和6年(2024年)1月

札幌市長 秋元克広